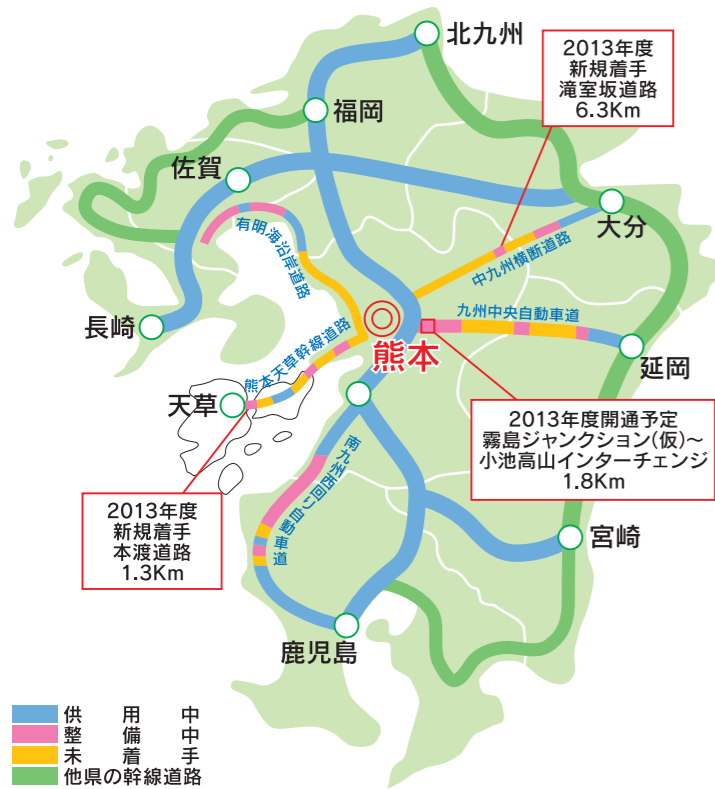


# 熊本を防災拠点に!! 蒲島知事、公明党山口代表へ要望!



↑空港屋上にて防災拠点基地の説明を受ける  
 蒲島知事、江田代表、県議団で空港屋上にて防災拠点基地の位置と規模などの説明を受け、熊本の優位性を山口代表にも認識して頂きました。



↑空港応接室にて熊本の優位性を確認

山口代表は、蒲島知事より屋上での説明に付け加えより詳しい説明を受けるとともに、防災拠点基地決定に際しては国土交通省の理解が一番重要であることの要請を受け、それに対して山口代表は、太田大臣に早急に会い、熊本の優位性を伝えると約束されました。翌日、山口代表は太田大臣に会い、次の日は安倍総理にもお会いする機会があり、両者に熊本の優位性をしっかり伝えたと山口代表から直接私に連絡がありました。

九州を支える広域防災拠点構想を掲げる蒲島知事は21日、公明党の山口那津男代表と熊本空港を視察し、南海トラフ巨大地震で九州が被災した際の国の合同現地対策本部を熊本に置くよう求めた。

政府は2014年度予算に同本部の調査費1100万円を計上。今後、本部の設置場所の選定が進む。

知事は「熊本空港から各県庁までヘリコプターで45分以内に着陸する②陸上自衛隊西部方面総監部など防災指令機関が集中する③病院や医師の数が多く、災害医療体制が充実している」など、熊本の防災拠点としての優位性をアピールした。

山口代表は空港ビルの屋上デッキに足を運び、県が空港の隣接地に進める自衛隊大型輸送機の駐機場整備について、県職員から説明を受けた。

終了後、蒲島知事は「熊本を防災拠点にするメリットを理解していただいた」と手紙を強調。山口代表は「熊本空港の機能は十分。熊本の優位性に関する説明は納得できるもので、(公明党の)太田昭宏国土交通相に伝えたい」と語った。

山口代表は熊本市の県立劇場であった公明党の結党50周年を記念する党県本部党員大会で講演。集団的自衛権行使を可能とする憲法解釈変更の閣議決定について「公明党の動きに掛って、自衛権行使の拡大に厳格な歯止めをかけた」と、支持者に理解を求めた。

(潮崎博)

↑熊本日日新聞7月22日付

●ホットライン (お気軽にご相談ください)  
 県議会/096(333)2645・FAX096(385)9767・携帯電話/090-8661-7722  
 ●ホームページ <http://www.shiroshita-kousaku.net/>  
 ●メール [shiroshita@kumamoto-komei.net](mailto:shiroshita@kumamoto-komei.net)



# しろしたこうさく 城下広作 県政報告誌

県民の身近な代弁者  
 熊本県議会議員  
 熊本市北区 出選  
 熊本県庁 〒862-8570  
 熊本市水前寺6-18-1  
 Tel.096-333-2645  
 Fax.096-385-9767

県民の身近な代弁者

2014年 10月発行

第64号



## ご挨拶

朝夕もすっかり肌寒くなりましたが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。風邪などひかれませぬよう、お御心掛け下さい。さて、9月議会も9月11日から10月6日までの日程で行われ、予定されていた全ての議案が承認されました。ところで、今年の夏は長雨になり、特に農作物の影響を心配されましたが、9月に入り天候も回復し、県下に重大な被害が出なかったことがせめてもの救いでした。一方、国では臨時国会も始まり、重要な課題が目白押しの我が国ですが、好景気の高揚感も中央と温度差があり、地方にも景気の実感が湧く支援策を国には講じてもらねばと考えています。その目玉となるのが、国の掲げる「地方創生」の施策だと思いますが、県議会12月議会では私が一般質問予定ですから、この具体的な中身を明らかにして、より効果の出る方向性を論議したいと決意しています。今後とも皆様方のご指導、ご鞭撻をお願い申し上げ、ごあいさつに代えさせていただきます。

平成26年10月吉日  
 県議会議員(公明党)城下広作

## 夏真っ盛り7・8・9月の「城下広作」奮闘記…体力勝負!! 「県営富尾団地住民」との対話!



県営富尾団地住民の皆様は、毎週1回のリズムで茶話会のような会合を持たれています。私もご案内を受けることが多く、度々参加させていただいています。話題としてよく持ち上がるのは、住宅内の整備や周辺道路での騒音問題、そして、年金や医療、介護、消費税増税後の物価問題と皆さんが自由に発言し盛り上がります。しかし、この様な集まりにこそ、「庶民の生の声」が集積され、自身の取り組む施策の情報の場として大変ありがたいと思っています。写真は7月3日の模様です。



## 中九州横断道路の早期完成を目指して



7月17日、竹田市久住町で平成26年度総会が行われました。総会には、沿線首長はじめ国会議員、知事、国土交通省関係者が参加され平成25年度の事業報告、26年度の事業計画(案)が決定されました。私も参加をしまして、今後は、九州北部豪雨よりわずか10ヵ月で「滝室坂道路」の事業化が決定したこの勢いを早期完成に結び付けたいと決意しています。太田大臣にも要望して参る所存です。

## 九州中央道建設促進大会に参加



9月2日、上益城郡嘉島町で、九州中央道建設促進大会が開催されました。この道路計画は熊本市と宮崎県延岡市と連結する九州横軸の幹線道路で、この道路が完成しますと、両県を結ぶ防災、観光道路として大きく貢献すると言われています。特に、山都町や南阿蘇方面の方は、救急医療や観光に欠かせないとして、一日も早い完成を望む声が目に見え、高まっています。しっかり支援して参りたいと思います。

## 主任技術者要件が緩和

予てより、県建設大工工事協同組合熊友会から若手技術者の育成、ダンピング防止策などの要望を受けていました。この程、国土交通省は建設業法施工規則等の一部を改正する省令案をまとめ、一般建設業の主任技術者の要件を見直し、型枠大工の試験合格者を「大工工事業」の主任技術者の要件に追加する方向が決まり、関係者から、企業の存続と若手の雇用や技術の習得に一步前進の取り組みと高い評価を受け、御礼の挨拶がありました。写真は、平成25年11月20日、県への要望の際の写真です。



## 国道208号線信号機・横断歩道設置要望



9月19日、荒尾市地区の国道208号線沿いで、地元住民から信号機と横断歩道の設置の要望を受けました。現場には自治会長や住民、そして、俣川市議とで現地を視察、道路の状況などを確認し、荒尾署に向き現場の状況や地元の要望を直接話し、一日も早い取り組みをお願いしました。警察も、信号機や横断歩道の設置で簡単に解決できない問題点もあり、この現場の状況に沿った交通安全対策を講じていきたいとの事。今後も住民と意見交換をしながら進めるとの約束が出来ました。しっかりと支援して参ります。

## 阿蘇地域及び阿蘇火口見学の推進

9月17日、地元森元市議と阿蘇市役所を訪ねました。私は、議会で県下の観光振興問題をよく取り上げることが多く、特に阿蘇の観光の賑わいは県観光のバロメーターと捉えていることから、関係者から常々情報を得ています。特に阿蘇火口は阿蘇観光の目玉であり、必ず見て頂きたい所でもあります。しかし、今の阿蘇中岳火口は火口周辺警報(噴火警戒レベル2)が出され、火口見学ができません。人命尊重の観点からそれを無視することはできませんが、しかし、噴火警戒が解除されたならば速やかに阿蘇火口見学に来ていただけるような対策を取るよう要望を行ってまいりました。

## 環境経済常任委員会視察



9月8日、上天草市の天草池田電機(株)を訪問しました。この企業は、幾多の経営環境の変化の中で存続の危機を迎えました。その都度企業努力をされ、今では、その苦勞が実り地元では大切な雇用創出の場として活躍されていました。また、この企業は、蛍光管を活用した次世代省エネ照明「eco da モン」を開発、多方面で使用されています。ちなみに県議会議事堂内でも使用され省エネに貢献しています。このような企業の活躍が、県下に広がることを期待し支援して参りたいと思います。

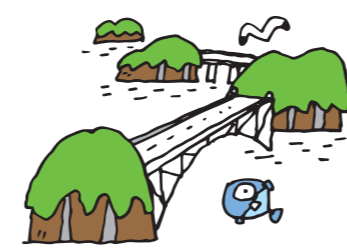


## 広島土砂災害被災者救援募金活動



9月14日、「広島土砂災害被災者を支援する熊本県民の会」(島田俊六代表)が熊本市内の上通り入り口で、募金活動を行いました。私も募金活動に参加させて頂き協力を呼びかけました。2時間余りの呼びかけでしたが高齢者から親と一緒に子供さんまで募金に協力して頂き、本当にありがとうございました。集まった募金は、10月9日、島田俊六代表が日赤熊本支部に持参され、寄贈に際しては同行させていただきました。

# 各種団体や個人・天草漁協関係者との交流!!



天草漁協の天草町漁協組合員と水産業の振興・地域で抱える諸問題の解決に向けた協議を、県庁内で漁業関係課の職員を交え懇談を行いました。地元に残る漁業従事者の生活基盤確保のため全力で支援して参りたいと思います。また、農業関係者では、蒲島知事が肝いりで進めている、熊本市の県農業経営者塾生OB宅を訪問、当時の思い出や、塾生になって農業経営の変化や今後の目標について、意見を伺ってきました。農林水産業に従事している皆さんの共通点は、今日の漁獲量、農産物の出来高が測、従業員や家族の収入に直結することから、真剣な要望等が提案されました。この様な機会を増やして参りたいし、期待にも応えていきたいと決意しています。

7・8月は地域行事やイベントが沢山開催されました。多方面からお誘いを受け大変ありがたく思っています。その中で、7月24日には中央区黒髪地区ではリデルライトさん主催の夏祭りがあり、7月28日には熊本市内の天草出身者が主に集まる、「ふるさと天草語ろう会」が開催され、同郷出身者との思い出話や近況を語り合うなど楽しい時を過ごさせていただきました。「ふれあい対話」は私の政治信条でもあります。もともと機会を増やして参りたいと思います。



## 9月議会報告

### 特別委員会での私の発言趣旨

広域防災拠点として、熊本に決定される可能性はどうかと尋ね、来熊された山口代表はじめ関係者にしっかりとお願いしているとの答弁がありました。次に、阿蘇火口見学について、現在レベル2の規制がわかり見学できなくなっているが、外国人を含め多くの火口見学希望者の期待を裏切る形になっている、規制が解除されたならば速やかに阿蘇火口見学の広報活動に努めてもらいたい、世界ジオパーク遺産登録との相乗効果を発揮すべきと発言しました。また、沖縄に行った際、レンタカーを活用したこと、利用者の多さにビックリしたことを報告、本県も参考にしたいと意見を述べた。

### 経済環境常任委員会での私の発言趣旨

ジョブカフェくまもと、ジョブカフェランチなど若者の就職支援施設での利用増や就職決定の話題を聞か、正社員、非正規社員の割合など尋ねたら、県の場合、3人に1人が非正規社員であると報告、その中には、あえて非正規社員を希望する方も多いたか、ただ非正規社員を希望する数を正確につかむことは難しい状況で、何らかの対応をしなければとの認識は持っていた。私は、いずれにせよ非正規社員は収入の安定性に欠ける恐れがあり、改善策を求めました。また、再生エネルギーの問題では、九州電力が突然、太陽光発電の申し込みを中止すると発表したことから、県下の太陽光発電に関係する方々にはショッキングなニュースであると意見を述べ、九州電力に対して、県としても詳しい経過説明を求めていくべきと要望しました。

↓熊本日日新聞平成26年10月7日付

9月定例会県議会は6日、2014年度一般会計補正予算や、県議選の選挙公報を発行する条例制定など38議案を可決、10議案を承認し、同意して閉会した。	
9月定例会県議会は6日、2014年度一般会計補正予算や、県議選の選挙公報を発行する条例制定など38議案を可決、10議案を承認し、同意して閉会した。	契約締結2、意見書7、専決処分承認9、人事同意1。補正予算は豪雨・台風災害の復旧工事費や有床診療所のスプリンクラー設置費助成などで18億7900万円を追加。補正後の総額は前年同期比0.2%減の7381億6300万円となった。
1、条例18、財産の処分・貸し付け2、市町村負担金8、工事請負	選挙公報条例は議員提案。政令指定都市移行に伴い県議選と同時に選挙となる熊本市議選では選挙公報が発行されるため、県議選も足並みをそろえる。来春の統一地方選から適用され、県選管が選挙区ごとに発行する。
共産党と新社会党が提出したオスプレイの「地域活性化や人口減少を国だけの問題にせず、地方から自主的に知恵を出していきたい」と述べた。(渡辺哲也)	県民クラブが賛成したが、自民党、公明党などの反対で否決した。教育委員に新たに吉井恵瑠子氏(52)＝水俣市＝を任命する人事にも同意した。閉会後に記者会見した前川収議長は、9月定例会で政府が取り組む地方創生への質疑が

## 県議選も公報発行へ

相次いだことに触れ、「地域活性化や人口減少を国だけの問題にせず、地方から自主的に知恵を出していきたい」と述べた。(渡辺哲也)

